会派等構成

議員定数50人（平成28年7月11日現在）

会派名	人数	役員及び構成員		
自由民主党千葉市議会議員団	17	幹事長 松坂吉則	副幹事長 岩井雅夫	相談役 茂手木直忠
		幹事 秋葉忠雄	会計 植草毅	阿部智
		石川弘	小松﨑文嘉	川村博章
		宇留間又衛門	小川智之	中島賢治
		三須和夫	石井茂隆	森茂樹
		米持克彦	石橋毅	
未来民進ちば	12	幹事長 山本直史	副幹事長 麻生紀雄	副幹事長 蛭田浩文
		会計幹事 田畑直子	亀井琢磨	三井美和香
		川合隆史	段木和彦	白鳥誠
		三瓶輝枝	佐々木久昭	布施貴良
公明党千葉市議会議員団	8	幹事長 近藤千鶴子	副幹事長 森山和博	会計幹事 酒井伸二
		桜井秀夫	青山雅紀	伊藤康平
		村尾伊佐夫	川岸俊洋	
日本共産党千葉市議会議員団	7	幹事長 福永洋	副幹事長 中村公江	会計幹事 盛田眞弓
		吉田直義	椛澤洋平	佐々木友樹
		野本信正		
市民ネットワーク	3	幹事長 岩﨑明子	会計 渡辺忍	松井佳代子
無所属	1	櫻井崇		
無所属	1	向後保雄		
無所属	1	橋本登		

知ってる？～市議会リポート～ report

～意見書・決議って何？～

市議会では市民に関する重要な案件について審議をしますが、国・県にも関わるため市だけでは解決できない問題があります。

そのようなときに、市議会としての意思を国会や関係行政庁に対し改善等を求め提出するものを「意見書」といいます。「決議」という形式で行う場合もあります。

これまでにも、「国民健康保険の基盤整備を求める意見書」、「遺体保管所等の営業等に関する法整備を求める意見書」や、東日本大震災による東京電力福島第一原発事故の影響に伴う、「千葉市内での指定廃棄物処分場建設候補地選定について再協議を求める決議」など、さまざまな意見書・決議を提出しています。

「千葉市内での指定廃棄物処分場建設候補地選定について再協議を求める決議」を平成27年6月9日、小里環境副大臣（当時・写真右）に提出する向後議長（写真中央）と白鳥副議長（写真左）

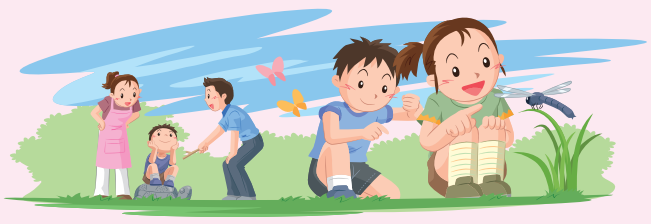
可決した主な議案

※各会派の賛否状況は4面をご覧ください。

補正予算：一般会計に4億2,600万円を追加

補正予算の主なものは、次のとおりです。

- ●保育士等の確保のための宿舎借り上げ支援…… 7,860万円
- ●ひとり親家庭への高等職業訓練促進資金貸付… 8,220万円
- ●保育所等における業務効率化の推進（ＩＣＴシステム導入・ビデオカメラ設置の費用助成）…… 1億150万円



主任介護支援専門員（主任ケアマネジャー）資格が更新制に

これまで主任介護支援専門員については、主任介護支援専門員研修を修了すれば、その後の更新は不要でしたが、今年度から研修の修了日から起算して5年を超えない期間ごとに、更新研修を修了することが必要となりました。なお、最初の更新研修については、次の期日までに受講すればよいこととされました。

平成23年度までに主任介護支援専門員研修を修了した者	平成31年3月31日まで
平成24・25年度に主任介護支援専門員研修を修了した者	平成32年3月31日まで

これに伴い、条例を改正し、地域包括支援センターに配置される主任介護支援専門員の資格要件を変更しました。

小規模な施設での「民泊」営業が可能に

住宅の全部又は一部を活用して宿泊サービスを提供するいわゆる「民泊」の営業許可を受けるためには、これまで客室の延床面積が33㎡以上必要でしたが、条例の改正によりこれを緩和し、宿泊者数を10人未満とする場合には、延床面積が3.3㎡×宿泊者数（最低6.6㎡）以上あれば、小規模施設でも旅館業法の営業許可が受けられるようにしました。

常任委員会審査から

各常任委員会では、議案や請願・陳情を、細部にわたり審査しました。
質疑の一部をご紹介します。

総務委員会（議案1件）

補正予算の事業内容は

問 今回の補正予算は国の平成27年度補正予算に伴うものとのことだが、補正予算中「保育所等業務効率化推進事業」の内容は。

答 本事業は、ＩＣＴシステム導入による事務作業の負担軽減や、ビデオカメラ設置による保育所内の事故防止・事後検証を目的として、今年度に限り、必要な経費を保育所等に助成するものである。

保健消防委員会（議案5件）

民泊施設の衛生面への対応は

問 法改正とそれに伴う今回の条例改正により、今まで面積要件に該当しなかった小規模な簡易宿所の営業が認められ、衛生面などのトラブル発生が懸念されるが、新たに許可する施設への対応は。

答 営業許可の申請後、許可前に立ち入り、衛生状況の確認を行う。指摘事項があれば、改善を求める指導をし、その改善状況について、再度、現地を確認する。許可後は、原則として年1回、立ち入りを行っていく。

環境経済委員会（議案2件、陳情1件）

今後の創業支援の取り組みは

問 ビジネス支援センターは、富士見分館を廃止し、創業支援の方向性を転換するとのことだが、今後の具体的な取り組みは。

答 現状の居室ニーズに対しては、施設を持つ民間事業者と連携を図り対応する。また、ソフト面については、コーディネーターの巡回支援などにより、個店創業に対しては、商店街等の空き店舗の活用などにより支援の充実を検討する。

教育未来委員会（議案4件、請願2件、陳情1件）

保育士等宿舎借り上げ支援事業への対応は

問 事前アンケートによると167名分の利用を予定しているとのことだが、予定以上の申請があった場合の対応は。

答 実際の申請者は、予定人数と比べ増減する可能性があるが、予定数を上回った場合は、可能な限り、現予算の中で対応したい。

都市建設委員会（議案4件、発議1件）

ＪＲ千葉駅駅舎の整備状況は

問 整備後は、改札口のあるコンコースが3階に移転するが、移動が困難な方の利用にも支障の無いようにするための配慮は。

答 地上部と3階の接続については、エレベーターやエスカレーターなどを整備していく。なお、駅構内は西口・東口改札が同じフロアで接続されフラットになることで、スムーズに移動できるようになる。